

## 油断は禁物

21年10月1日

和田 宏

筆者は8月下旬に怪我をして1ヶ月の入院からやっと開放された、退院時の看護師の送る言葉は「自転車は止めようね、(幼児言葉が流行っている)」である、自転車で転落して脊椎を傷めたのだから一見当たり前である、

事の起こりはこうである、NHKラジオのリトルチャロを聴き終えて、7時半にブリジストン アンカーで家を出た、朝の通勤時間帯である、5分後左側歩道が無くなるので右側歩道へ移ろうと2-3回振り返ってもう一度前を見たら自転車は眼下の休耕田の深い藪へ向かっていた。

反省点、振り返る時は止まって良く見よう。近いところでもヘッドギヤを着用する。

救急病院ではMRIとCTスキャンの映像に基づいて先生の治療方針が何故か本人抜きで家族に告げられている、頰椎の狭窄症が軽くないこと、脊椎の破裂骨折が2か所で、もれ聞こえてくる会話の中には「たら」「れば」に混じって「寝たきり」とか「半年」とか聞きたくもない言葉があった、

次は病院の寝巻きに着替える作業が待っていた、難関はサイクリングトランクスとアラスカ、オーロラクルーズのTシャツである、シマノのトランクスは1万5千円だが痛い目に遭いたくない一心でTシャツ諸共裁断してもらった。

与えられた部屋は**処置室**と書かれた個室で、痛み止めと栄養補給の点滴、鼻腔から酸素を、日に何度も姓名生年月日等を聞かれた、重症と診断されたいらしい、カテゴリーは30度安静である。これは食事の時でも上半身を30度以上起こしてはならないのである。嚙下の難しさはご想像ください、一週間様子を見てコルセットの型を採る、工期は一週間、その後は30度の制限は無くなる、

並行して7日目から午前午後各30分の筋肉トレーニングが開始された、その二週間後に歩行練習が始まった時に筋トレの効果の大きさと冷静沈着な理学療法士にめぐり合った幸運に感謝した。

この若い物静かな女性療法士は近い将来のことなど一言も解説しなかったが筆者には「必ず全快まであきらめない」気持ちが湧いてきて、日毎にトレーニング量を増やされても、有難いと受け止めて喜んでやれるようになった。

入院生活は単調で辛い、体力が湧いて来ないとTVを見る気にもならない、食事は1600kcalなので兎に角全ていただくことにしたそれと家内が買ってくれる牛乳を毎日数本飲み続けた、他に出来ることが無いからである、

上を向いて寝たままで出来ることは退院してから近い将来やりたいことのシミュレーションくらいである、

老人ホームの慰問で歌う歌は聴衆の年齢からすると昭和20年代のヒット曲、が良いだろう、とすると、上海帰りのリル、落ち葉しぐれ、リンゴの木下で、と、選曲してみる。

11月になったら10人の仲間と30年間放置された1000㎡の竹藪の再生作業が待っている、3月下旬に竹の子掘りが出来て、仲間の喜ぶ顔を見たい。安全で無駄の無い作業手順を提案しなければならない。

2月になったら庭のミニ池にヒキガエルが産卵に集まってくる、しかしご近所のブロック塀や深い側溝などの障害物に阻まれてカエル合戦に参加できないのが居る、救済するにはタモで捕獲して運ぶしかない、防寒着が要る、このテーマは蛙があちらこちらから次々と出てくるので何時までも終わらない。

コルセットの型を取る日がやってきた、工程はプリミティブで患者を立たせて約30分

(パイプの枠に掴まって耐える) かかる、楽ではない、目と鼻の先に3Dスキャナーの普及に努めるモアソソジャパンがあるのに、灯台下暗しとはこのことか。

一週間後に出来上がったコルセットは写真の通りなかなかのセンスでまとめてある、目的とする機能は脊柱を真っ直ぐ保つ、頭部を保持するである。

然し肝心なところが抜けていて筆者は一週間無用なストレスを味わったばかりか脊柱に負担を掛けた、マニュアルが無いのをいいことにハーネスがあれば締めたがる看護師が居て頰椎と脊椎を短くしようとする力を掛けられてしまった、また顎の位置のサポーターはデテントで上下に数センチ調整できるのにメカに弱いのか代わりにこれまたハーネスを締められて首を締められてしまった。アクシデントですかね。

考えの深い方は医療ミスと根は同じだと言うかもしれませんが筆者には良くわかりません。

さて冒頭に紹介した看護師の呪いの言葉は帰路も筆者を捕らえて離さない、筆者は無口になって病棟の廊下を歩いた、自転車は確かに怪我した瞬間に介在した、しかし何故止める話になるのか。同室に居た栗の木から落っこちて骨折した人には何と諭すべきか「木登りは止めようね」が正しいのはそれが高齢者に限ったことで、子供だったら「もっと体を鍛えて栗を沢山採れ」と諭すべきで、自転車でも同じであろう、

何が大切か考えないで発言できる看護師や理学療法士が放置されている限り、幾ら外科医士が腕を振るっても幸せになれない退院者が増え続ける心配がある、

しかし筆者はタクシーを待つ間に結論を出し平常心を取り戻した、速成の看護師や理学療法士の中には自身の素質なのか教師の指導力の性か最適な助言に心が及ばないひとが有るらしい、この種の悲劇を防ぐには分かり易いマニュアルを用意することであろう。

子犬のリトルチャロはニューヨークで迷子になっても日本へ帰る夢をあきらめない、筆者も以前と同じようにコントラクトブリッジ、自転車、エストレヤ、ジルバ、カラオケ、が出来るまであきらめない、お見舞いに来て頂いた方々の期待に応えなければならない。しかし自主トレを開始して1週間決して容易ではない現実を味わっている。



コルセット展開図：右が胸側で、●を緩めると数センチ空色のあご支えを調節できる、左が背側で左端の3本のマジックテープで締めると背骨が保護された感じがする、上部の空色部材は後部から頭を保持する。  
以上